

ARAI NEWS

写真のヘルメットは、オーストラリアGPで、フレディー・スペンサー選手が高速の第1コーナーで、推定時速230キロでハイサイドを起こし、転倒した際のヘルメットです。第一撃で後頭部下部を直撃し、大きな衝撃を受けた傷跡が残っています。その後、バイクの下敷きになりながら、滑ったために、路面に削りとられたような激しい傷跡が後頭部から側頭部にかけて残っています。このような激しい転倒の際、その多くは、側頭部の下の方を打つ例が多くなります。



身を守るものだからこそ、

ヘルメット選びは慎重に。

ヘルメットは、頑丈で弾性のある帽体と、吸収力の大きなライナーにより、頭を守ります。その安全性の目安は、スネルやJISといった規格となりますが、それらのテストは、それぞれ規格によるテストラインより上で行われています。



ヘルメットをただ単に軽くするためには、規格外のヘリに近い下の方を薄くする事によってもできます。また、スタイルを優先させれば、規格外にあたる部分のライナーを薄くしてヘルメットを小さく見せる事もできます。もしそんな事をアライがしていたならば、このようにスペンサー選手は大丈夫でしたと言ってヘルメットをお見せすることはできなかった事でしょう。ヘルメットの安全性は、規格外の下の方までしっかり作られているかど

うかがい大切なのです。



下の方までしっかりつくられているかどうかチェックする方法は、まず第一に側頭部のヘリを両手で潰すように押して、規格外の下の方までしっかりできているかどうか確認する事です。そして、第二に後頭部のヘリを、手のひらでつかんで、ライナーが下までしっかり厚みをもっているかを確認します。この2点が、ヘルメットを選ぶ際に、簡単に行えてしかも確実なチェック方法です。



ヘルメットの安全性は、有限なものです。だからこそ、ご自身で確認して、まじめに安全性を追求しているヘルメットをお選びになることをお勧めします。